

# 第3回 文教厚生常任委員会

開催日	令和4年2月1日（火曜日）	
開催場所	粕屋町役場 3F 32会議室	
開催時間	10:30～12:12	
出席者	議員	井上委員長・宮崎副委員長・本田委員・久我委員 田川委員・福永委員・古家委員・小池議長
	事務局	吉村主事
	担当課	住民福祉部（中小原部長） 子ども未来課（神近課長） 学校教育課（早川課長）
欠席者	なし	
報告項目	<p>報告事項</p> <p>1) 子ども未来課からの報告</p> <p><b>町内保育所における新型コロナウイルス感染症クラスター発生について</b></p> <p>○休園状況の報告（1月13日から2月1日までの休園状況）</p> <p>始めは、保健所の指導のもと行われていたが、次第に保健所がひっ迫し、対応できなくなったため、町の判断で休園を判断した。保健所の業務ひっ迫のため、県が出した濃厚接触者に該当する可能性があるという人を園がリスト化して、行政に報告し判断した。</p> <p>以前は、濃厚接触者の待機期間は10日の待機であったが、今は7日間と国の対応も変化し、対応に苦慮しているとのこと。</p> <p>質問 休園した時、子どもの預かり場所のない方の相談は。</p> <p>回答 濃厚接触者以外の子どもさんは預かる事が可能。</p> <p>全員が濃厚接触者に指定された保育園は、保健所が指定したので休みが長くなった。</p> <p>質問 行政として、子どもを預けるところをサポートしたのか。</p> <p>回答 町としてはなかった。国が出した給付金があったので、申請の案内をしている。また社会福祉協議会が小口現金の貸し出ししている。</p> <p>質問 町で給付金があるというお知らせをしてほしいがいかかか。</p> <p>回答 企業の方で申請の対応をしてもらうことになり、課にも話が来ていないため、対応は今のところ考えていない。</p>	

## 報告項目

質問 給付金が思ったより申請されていない。関係所管課だけでなくコロナ関係の窓口、臨時担当課がいるのでは。

回答 このような意見があったことは町長に伝える。また、町は、コロナ対策本部を立ち上げている。会議の中で検討しているため、できない可能性がある。

質問 申請することが負担であると思うので町として支援に取り組んでほしい。各園長に相談はないかという問いかけは。

回答 公立は課長に連絡が来るようにしている。私立に関しても私立も含めた園長会で助成金の話をしているが、今のところ相談はない。

質問 幼稚園からの報告は。

回答 今のところはない。子どもの体調が悪いときはすぐに休むようにしていただいている。

質問 休園に至る決定した時の保護者への周知は。また、突然の周知は困ると思う。

回答 周知はメール等の ICT を活用している。すぐにお知らせして、その日に分かった場合は園への早いお迎えをお願いしている。時間の長さは、保健所が入る場合と入らない場合で対応が変わる。入らない場合は2日の間隔で発生状況を見ながら休園して対応していた。最終的には保健所が入ってから休園の日にちを決めている。

保健所がひっ迫した28日以降は、接触した日から数えて7日間を休園することとなった。

質問 ある小学校では体育館で PCR 検査をしたことがあるが、保育所もしたのか。

回答 28 日以降はその方式はとらなかった。保育所を休んでいただき、体調が心配な方は県の無料検査場をご利用いただく。

質問 家族がその幼児の検査をしない限り陽性が分からないのか。

回答 その可能性はある。なので県の方が7日間休むように周知するよう言っている。

質問 近隣他町の発生状況は。

回答 分かりません。全国的に保育所の休園は 670 か所以上だったと思う。

質問 相談窓口を一つにしては。どこに相談してよいか分からない。また、どのようなメール配信か。相談する方法として共有できるシステムにしては。

回答 各園での保育システムの中にメール配信機能のようなものがある。双方向の連絡ツールになっている。

### 2) 学校教育課からの報告

#### 新型コロナウイルス感染症に対する町内小・中学校の学年閉鎖

## 報告項目

### ○休校状況の報告

- ・1月17日より始まる

始めの頃は、学校でPCR検査ができたが、保健所で対応ができなくなり学校のガイドラインに従って、教育委員会と相談しながら学年閉鎖を決定している。なるべく、教育活動を止めないようにしている。現在閉鎖している学校にはタブレットを持ち帰らせ、朝の健康観察などを行いプリント学習をさせている。ネット環境がない家庭には、ルーターを貸出し、そこにかかる使用料金は、就学援助で補助している。

学童は一つのクラスで増えてきたら閉鎖する。親が子どもを預けている機関なのでなるべく閉鎖しないようにしている。

質問 学童で陽性者、濃厚接触者が出た時はどう進めるのか。

回答 学級で増えたら学童もその方たちに出席を控えてもらう。

学童は保護者が仕事をしておられるので、なるべく止めない方向でいきたい。

質問 分散登校は行わないのか。感染していない子どもの登校は。

回答 兄弟児の関係で保護者が大変なので、分散登校はしない。

学級閉鎖をしているのは、保健所が濃厚接触者の把握を止めたから学級閉鎖をせずに登校を続けると、学校で濃厚接触者の把握漏れが起きる可能性があり、そうすれば感染も増えるのでクラス全体を止めている。

質問 教育委員会の何人感染者が出たら学級閉鎖するという方針や、文科省のガイドラインはインフルエンザと同じなのか。7日間休まなければならない子どもに対して学習権はどうなっているのか。タブレット学習は。

回答 同じではない。クラスごとに見て増えてきているところで判断する。陽性者は10日は待機、今は7日間になっている。低学年にはタブレット学習は難しいので、プリントを配っている。今のところタブレットで勉強というのはできていない。

質問 家にネット環境がない家庭は。

回答 ルーターの貸し出しはしている。就学援助費に使用料として入れている。

### 3) その他

文教厚生常任委員会報告書について

研修を踏まえての調査・研究①～⑥でいいのか、どうか3月定例会でまとめる。

① 保育士（正規・非正規）のキャリアアップのための研修。特に非正規職にも研修の機会を与えていくべきである。

## 報告項目

- ② 保育士給与及び環境改善。
- ③ 乳幼児期0～2歳までの時期の保育の行き届いた環境整備。
- ④ これから定員割れしていく幼稚園や保育所の建物の空間の活用。
- ⑤ 公立、私立保育所が「保育所保育指針」を実践交流しながら、町全体の保育の質の向上。
- ⑥ 粕屋町立保育のセンター的役割とは何か。地域に開かれたことは、地域の誰でも入れる保育所とは？教育相談の対応は？担当を決めて調査研究する。
  - ①古家議員②田川議員③本田議員④福永議員⑤久我議員⑥宮崎議員